

「第4期愛知県自殺対策推進計画」の進捗状況
計画期間：2023年度～2027年度

資料 2

<ライフステージ別対策>

取組区分	指標とする内容	計画策定時の状況	2027年度目標	2023年度実績	2024年度の主な取組内容	局
就学期	スクールソーシャルワーカーの配置人数	高等学校:10人 特別支援学校:2人 (2022年度)	増加	高等学校:10人 特別支援学校:2人	○家庭環境など複雑な背景を抱える児童生徒に対し、児童生徒が置かれた環境にはたらきかけ、児童生徒の抱える問題の解決に向けた支援を行うため、スクールソーシャルワーカーを配置する。	教育
	公立小・中学校におけるスクールカウンセラー配置時間	112,324時間 (2022年度)	増加	118,260時間	○いじめや、不登校、児童生徒の不安等に適切に対処するため、児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーを配置する。	教育
	養育支援訪問事業を実施している市町村の数	49市町村 (2021年度)	全市町村	50市町村 (2022年度)	○保健、福祉関係職員の資質向上を図り、市町村における養育支援訪問事業の実施を推進するため、研修会を実施する。	保健医療
	公立小・中・高等学校におけるスクールカウンセラーの配置時間（小中学）、配置人数（高等学校）	小中:112,324時間 (2022年度) 高等学校:58人 (2022年度)	増加	小中:118,260時間 高等学校:62人	○いじめや、不登校、児童生徒の不安等に適切に対処するため、児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーを配置する。	教育
	「親の学び」学習プログラム活用講座参加人数	704人 (2021年度)	毎年度2,000人以上	953人	○登録された子育てネットワークが講師として小・中・義務教育学校、幼稚園、保育園、子育てサークル等に出向き、乳幼児から小中学生の保護者向けに、体験・参加型の研修会を実施する。	教育
成人期	ヤング・ジョブ・あいち利用者における就職者の正規雇用割合	89.20% (2021年度)	95%	90.12%	○若年求職者の早期就業を支援するため、県と国が連携して運営する「ヤング・ジョブ・あいち」において、就職相談等のサービスをワンストップで提供する。	労働
	あいち労働総合支援フロア利用件数	41,641件 (2021年度)	前年度実績を上回る値	36,901件	○労働・雇用に関する総合的な支援を行うため、労働者、求職者や中小企業等の方々に対し、産業・労働・就業に関する幅広い最新情報の提供や様々な相談に応じるとともに、内職相談・あつ旋を実施する。	労働
	メンタルヘルス対策実施事業所割合	48.70% (2021年)	63% (※2025年度目標)	64.2%	○県内各地でメンタルヘルス対策セミナーを年4回開催し、メンタルヘルス対策のアドバイザーを様々な企業に年25回派遣している。また、普及啓発資料を5,000部作成し、配布している。	労働
	「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動」の賛同事業所数	延べ46,211事業所 (2022年度)	延べ45,000事業所	延べ46,523事業所	○年次有給休暇など休暇を取得しやすい職場環境づくりや定時退社等を企業に呼びかけ、賛同する事業所を募集し、県内のワーク・ライフ・バランス推進の気運醸成を図る。	労働
	愛知県ファミリー・フレンドリー企業登録数	新規登録94社 (2021年度)	毎年度 新規登録130社	99社	○「愛知県ファミリー・フレンドリー企業」登録制度の普及拡大を図るとともに、登録企業に対する各種支援を行う。	労働
	DVに関する相談窓口の認知度	60.40% (2022年度)	80%	33.60%	○DV相談窓口の記載があるDV防止啓発資料について、各市町村や関係団体、児童センター等に配布及びWebページ上で公開するなど、DV相談窓口の周知を行う。	県民福祉
高齢期	高齢者相談対応人材育成研修への参加者数（累計）	800人 (2021年度)	1,550人	1,080人	○介護支援専門員に対し、高齢者や介護者の心理状態やり患しやすい精神疾患等について理解を深める研修を実施する。	保健医療

<特に配慮が必要な方への対策>

取組区分	指標とする取組内容	現 状	2027年度目標	2023年度実績	2024年度の主な取組内容	局
精神疾患患者	かかりつけ医等心の健康対応力向上研修受講者数（累計）	2,928人 (2021年度)	3,250人	3111人	○一般診療科医等に対して、うつ病等精神疾患を早期発見し、適切に精神科専門医へつなぐことができるよう、精神疾患等に関する理解の促進や知識の定着、診療時に必要な技術の修得を目的とした研修会を実施する。	保健医療
	アルコール依存症専門医療機関の指定	6か所 (2021年度)	9か所以上	8か所	○アルコール依存症に対する適切な医療を提供することができる専門医療機関を選定し、医療提供体制を整備する。	保健医療
自殺未遂者	医療従事者等に対する自殺未遂者対応研修の受講者数（累計）	649人 (2021年度)	920人	809人	○自殺未遂者が搬送される救急医療機関において、自殺を再企図させないための適切な対応がとれるよう、医師、看護師等を対象とした研修を実施する。	保健医療
がん患者、慢性疾患等の重篤患者	がん患者等のケアを行う看護師等に対する心のケア対応研修受講者数（累計）	440人 (2021年度)	730人	612人	○がんを始めとする重篤な疾患を抱えた患者の心のケア対応力の向上を図るため、ケアに従事する看護師等への研修を実施する。	保健医療
生活困窮者・多重債務者	生活困窮者支援等を行う者に対する精神面対応向上研修の受講者数（累計）	638人 (2021年度)	1,080人	1,031人	○生活困窮者の支援等を行う者に対し、支援対象者の精神面の不調に関する正しい知識や適切な対応技術を修得するための研修を実施する。	保健医療
	司法書士に対するゲートキーパー研修への参加者数（累計）	866人 (2021年度)	1,110人	932人	○債務問題などの相談にあたる司法書士に対し、相談者のメンタル不調に気づき、必要に応じて専門の相談窓口へ繋ぎ、連携について学び自殺予防のゲートキーパーとしての役割を担うことの研修を実施する。	保健医療
災害被災者・犯罪被害者等	D P A T養成研修への参加者数（累計）	238人 (2021年度)	450人	260人	○D P A T隊員の養成を行うため、必要な知識等を修得するための研修を実施する。	保健医療
女性	あいち子育て女性再就職サポートセンターの利用件数	654件 (2021年度)	毎年度700件	835件	○出産、育児等を機に離職し、現在就職していないが、働く意欲と能力を有している女性を対象に、円滑な就業を支援するための事業を実施し、幅広く女性の就業を促進することにより中小企業の人材確保や地域経済の活性化に資する。	労働

<その他の保護因子を高める対策>

取組区分	指標とする内容	現 状	2027年度目標	2023年度実績	2024年度の主な取組内容	局
自殺予防ゲートキーパーの養成	自殺予防ゲートキーパー養成研修参加者数（累計）	33,201件 (2021年度)	38,000人	36,299人	○地域住民を始め、様々な専門職や各種相談支援業務に従事する行政機関の職員等を対象とした自殺予防のゲートキーパー養成を実施する。	保健医療
	市町村・県、その他相談窓口担当者対象の自殺予防研修参加者数（累計）	1,332件 (2021年度)	1,800人	1,518人	○市町村や県、各種相談窓口の担当職員を対象とした自殺予防に関する研修を実施する。	保健医療